

ボランティア入門講座

日時	毎月第4土曜日 ①10:00~12:00又は②13:30~15:30												
講師	当センターボランティアコーディネーター												
形態	講義及び事例報告 ※6月・10月・2月は「スポーツボランティア養成講座」も兼ねて開催												
参加者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	13人	8人	26人	10人	16人	9人	32人	14人	20人	19人	18人	36人	221人
満足度	62.5%	100%	85%	100%	100%	100%	65%	92.8%	83.3%	94.7%	83.3%	94.4%	95.8%
目的	ボランティア初心者または未経験者が、本講座を通してボランティア活動に必要な基礎的知識及び情報を習得することで、ボランティア活動をより身近なものとして理解し、今後のボランティア活動のきっかけとしてもらう。												
概要	前半にガイダンスを行い、ボランティアの心構えなどを分かりやすく解説した後、実際に活動している団体や個人の事例報告、対談を行った。後半のフリートークでは当センターのボランティアコーディネーターも交えて参加者同士が思いや考えを共有でき、市民公益活動への思いを高めることができた。また、終了後には参加者からの相談もあり、市民公益活動へのすそ野を広げることができた。												

アンケートの声

- 今日の講座で行政・NPO 団体・社会の関係性が良くわかりました。
- 大変良い講座だと思います。ぜひ継続して沢山の方々にガイダンスしてほしい。
- 講座一回あたりの受講生が少ないように思います。
- 今日参加して、身近にこんなにも様々なボランティアがあることを知りました。
- 曖昧なボランティアに対する考えがまとまりました。今後の行動に活かします。
- 講座の内容が盛りだくさんなので、時間内でおさまる内容でお願いしたいです。
- なんとなくボランティアのイメージはありましたが、本日でよくわかりました。
- ボランティアの心得、ボランティアと行政の関係、すべてがわかりやすかった。
- 最近起こっている大災害に関して、何かできないかと思えます。
- 2回目の受講ですが、前回よりももっと広く、深い話を聞くことができ、よりわかるようになりました。何か見つけてやらなければならないと思うようになりました。
- かしこまらないで、楽に講座を受講できるのが良いと思いました。
- ボランティアのを見つけ方についてのお話が、すごくわかりやすかったです。
- 自由時間がたっぷりあるので、少しでも社会の役に立てればと思っています。
- 講座を聞いてから、自分なりに楽しく活動したいと思いました。

会場の様子



～コミュニケーションのための演劇ワークショップ～

日時	【第1回】平成29年6月25日(日)【第2回】7月30日(日)【第3回】8月27日(日)【第4回】9月24日(日) 【第5回】10月22日(日)台風のため12月3日(日)に延期 【特別編】11月11日(土) いずれも13:00~16:00		
講師	シアター・プロジェクト・奈良 芸術監督：山吹草太、同代表：なかもとみゆき		
形態	ワークショップ		
参加者	第1回 16名 第2回 27名 第3回 17名 第4回 17名 第5回 8名 参加者のべ 85名 (申込者63名)		
満足度	<p>第1回</p> <p>第2回</p> <p>第3回</p> <p>第4回</p> <p>第5回</p>		
目的	様々な市民活動も、メンバーの意思疎通がうまくいかないと、人間関係に悩んでやめてしまうという残念な結果に終わることがある。そこでコミュニケーションの集大成である演劇を学ぶ手法を使って、人々の関係性について学び、コミュニケーションについて、自らの気づきを深める。		
概要	ワークショップの前半は、俳優たちのエクササイズで、後半はテーマについてワークをした後、気づきについて話し合う。		
	参加者の声	今後どういう場面で活かそうか？	会場の様子
	<p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 少し行き詰っていて、何かを変えるきっかけになればと思って参加した。 • コミュニケーションが苦手で、スキルアップしたい。 <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 簡単なエクササイズも難しく、コミュニケーションの難しさがわかった。 • 自分自身を見つめ直すきっかけになった。 • 新しい目線でコミュニケーションが考えることができた。 • やらうと思う事と自分がやっていることが違うことに気づいた。 • 普段はあえて練習しないことを、演劇に触れながら学べるのが楽しかった。 • 今までにない新鮮な体験だった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 人とのかかわりの中で、言葉の大切さを感じていたので、日常的に活かそうだ。 • 普段の生活の中での、ものの見方や考え方。 • これからの人生で、いつも自分をスキャンして観察して、変化を楽しんでいこうと思う。 • 自分自身と向き合えたことで、人に対していい距離感が保てる。 • 自分はどのような人間なのか、これからどのように生きていくべきかを考える時の軸になる。 • フィルターを通さず、見る・感じるを心がけてみたい。 	

スポーツボランティア養成講座

講座日程 内容	<p>第1回 平成29年6月24日(土) 10:00~12:00「マラソンが2倍楽しくなる!! コツ」 ①スポーツボランティアとは②奈良マラソンのボランティアについて(日程・申し込み・説明会)</p> <p>第2回 平成29年8月23日(水) 10:00~12:00「エクササイズを覚えてボランティア」 ①スポーツダンスの話②地域や施設でできるエクササイズ講習会</p> <p>第3回 平成29年10月28日(土) 13:30~15:30「パートナーシップで仲良くボランティア」 ①NPO法人まほろば円舞会について②地域や施設でできるダンス講習会③ボランティアについて</p> <p>第4回 平成29年12月2日(土) 10:00~12:00「健康な日々のための知識と実践」 ①日々の楽しい過ごし方②呼吸法③ウォーキングと脳トレ④救急の対応</p> <p>第5回 平成30年2月24日(土)「みんなで楽しむサッカー」 ①奈良クラブについて、スポーツと地域活性化②ボランティアの活動紹介、障がい者のサッカー③ワークショップ</p>
講師	<p>第1回 奈良マラソン事務局 東久保史郎氏</p> <p>第2回 関西ポーランドダンス愛好会「クラコ」 竹山進一郎・政子ご夫妻</p> <p>第3回 NPO法人まほろば円舞会 理事長 上亟 明氏</p> <p>第4回 株式会社オアシスなら 居宅介護支援・訪問看護ステーション 代表 浅野和代氏(看護師・介護支援専門員)</p> <p>第5回 NPO法人奈良クラブ 運営担当 宮崎 大氏</p>
形態	講座(5回)とボランティア活動(奈良マラソン、健康大学:体力測定ボランティアとフォークダンス、NPO法人まほろば円舞会、奈良クラブ他)
参加者	<p>講座受講者: 第1回26名 第2回36名 第3回32名 第4回35名 第5回18名 合計147名</p> <p>ボランティア活動参加者: 奈良マラソン 24名 ダンス関係 12名</p>
全体的な感想	<p>第1回 奈良県スポーツ振興課より、奈良県スポーツボランティア登録者対象に広報してもらえて、集客効果があった。この講座から、奈良マラソンのボランティアに行かれる方が増えた。また、登録だけでなく、このような養成講座を開催する意義のあることを講師よりお聞きした。</p> <p>第2回 スポーツボランティアはチームワークやコミュニケーション力が必要であり、フォークダンスは、輪になり、いつの間にか友人になっている。お互い支え合い楽しく行って頂け、自然と身についた。講師のご夫妻が好評で、追加講座を実施することができ、大変喜ばれた。</p> <p>第3回 ダンススポーツについて上亟理事長よりお話し頂いた。また、NPO法人まほろば円舞会のボランティアにも参加して頂いた。何よりもNPO法人まほろば円舞会と奈良市民と出会うきっかけができたこと、理解して頂ける場ができたことを大変喜ばれる。もう少し舞台を支えるボランティア(チケット、受付、会場整理など)について支える側のお話を今後期待します。</p> <p>第4回 ボランティアとして、社会と関わることや、自分の健康についても日々の生活が大切であることなど講師の話から理解してもらえた。第4回めにこの健康講座を開催できたことはよかった。講座の内容が深まった。</p> <p>第5回 講義やワークショップを通じて、サッカーの魅力、また、「支えること」のすばらしさを感じ取ってもらう事ができた。また、実際にボランティアを体験された方のお話しを通じて、スポーツボランティアの魅力を伝える事ができた</p>

参加者アンケートより

第1回（本講座に興味・関心を持たれたきっかけ）

- ・奈良マラソンに参加していますが、いずれは走れなくなると思うので、その時にボランティアに参加したい為
- ・退職後、時間の余裕ができたので、何か役に立つ事をしたい
- ・奈良県のスポーツ振興に少しでも役に立ちたいと考えています。

第2回（本日の講座の内容について）

- ・ご夫婦の幸せそうな、苦勞を乗り越えていかれた様子をダンスを通じて感じた。
- ・奥様の明るさはボランティアを行う上で大切なことである
- ・フォークダンスがこれほどハードかつ楽しい体験だとは思ってなかった
- ・参加者が全員すぐに踊れることは素晴らしい
- ・フォークダンスときいて恥ずかしさ・敷居の高さを感じていたが、参加して楽しかったと感じた

第3回（本日の講座の内容について）

- ・あらためて、自分のリズム感がわかりました。いい機会でした。有難うございました。
- ・初めてのジルバでしたので、なかなかステップが重くて大変でした。

第4回（本日の講座の内容について）

- ・少し悩みごとありましたが、笑顔でいこう！！と思える気がしました。とても楽しかったです。ありがとうございました。来られて本当によかったです。
- ・日常が大切であること、何を大切にして生きていくのかを考えさせるよい機会でした。
- ・人生の生き方に対するの感じ方が良くわかった。これからの為になる話が良くわかった。私にとって良い勉強になりました。
- ・ウォーキング前後のストレッチ。生活の中に長寿のポイントがある話。よかったです。

第5回（本日の講座の内容について）

- ・サッカーボーイOBとして、生涯サッカーに関わりたい。
- ・定年退職して、何か役立つ事があればと思いスポーツボランティア養成講座を受講しました。
- ・支えるスポーツとして楽しめる。

会場の様子

講座とイベントなどの様子



第1回奈良マラソンの活動紹介



NPO 法人まほろば円舞会の様子



第4回健康な日々の知識と実践

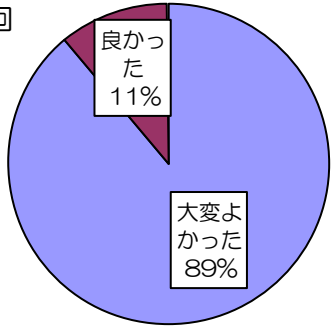
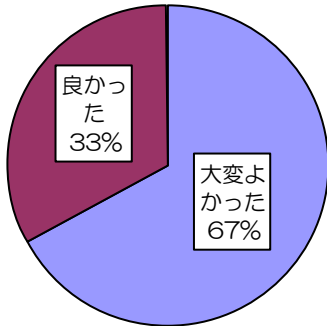
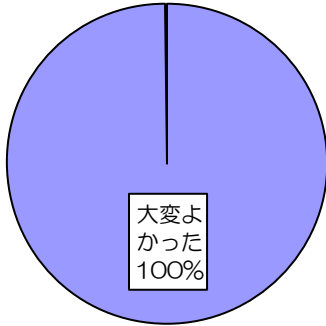



第2回エクササイズを覚えてボランティア



第5回みんなで楽しむサッカー

広報デザイン講座～魅力が伝わる三つ折りパンフの作り方～

日時	【第1回】8月19日(土) 【第2回】8月26日(土) ※【第3回】9月2日(土) 写真撮影ワークショップ 報告書別紙 【第4回】9月2日(土) 【第5回】9月30日(土)
講師	第1・2・4・5回 林田全弘さん(小さなNPOを応援するデザイナー)
形態	ワークショップ 第5回目は、個別相談会
参加者	5団体 のべ 34名
満足度	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>第1回</p>  <p>良かった 11% 大変よかった 89%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>第2回</p>  <p>良かった 33% 大変よかった 67%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>第4回</p>  <p>大変よかった 100%</p> </div> </div>
目的	市民活動団体の活動紹介の広報ツールとして、コンパクトでコストも抑えた三つ折りパンフを作り、情報を魅力的に伝達する。
概要	第1回 団体キャッチコピー作り 第2回 三つ折りパンフ作りの準備 第4回 レイアウト、ラフスケッチ 第5回 個別相談会
アンケート調査結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・林田さんの説明が、まさにキャッチコピーの連続! ・初心者でもキャッチコピーの作り方がとてもよく解った。解りやすい言葉で作ってみようと思う。 ・段階を踏み、実際にやってみながら進めてもらったので、考える方法そのものに、触れることができ、理解しやすかった。 ・自分たちの団体の「いいところ」を再発見することができた! ・具体的に、課題・目的・作戦・内容と段階を踏んで、考えを整理できてよかった。 ・三つ折りパンフレットを作るうえでの注意やヒントなど、教えていただけてよかった。広報物を作る際は、目的・作戦などを練ってからデザイン・レイアウトを作るというプロセスがわかりやすかった。 ・整理・発想・表現の順序立ててやる重要性が分かったが、実際に作る段階ではなかなか難しかった。最後に分かった気がする。 	
会場の様子	
	

写真撮影ワークショップ（広報デザイン講座）

日時	平成 29 年 9 月 2 日（土） 9：00～12：00
講師	カメラ雑貨店「PHOTO GARDEN」店主 辻益子さん
形態	講義・実技指導・ワークショップ
参加者	8人（5団体）
満足度	100%（※参加者全員がアンケートで「大変良かった」を選択）
目的	一般的なデジタルカメラの操作方法から魅力的な写真を撮るコツまで、撮影の基礎的な力を身につけて、団体の広報や情報発信に活用してもらう。
概要	各自が持参したデジタルカメラを使用して、基本的な操作や各種設定などを学び、その後は屋外で実際に撮影しながらの実技指導を受けた。



参加者アンケートの声

- カメラの種類の違い、構え方（構図）、ピントの合わせ方、露出補正など、カメラの取り扱いが大変良くわかりました。
- 写真（カメラ）の機能が良くわかった。構図の取り方のヒントを多くいただいた。
- わかりやすい説明でよかったです。これまでオート設定でばかり撮影していたので、これからは使用説明書も読み込んで、少しでも勉強しようと思いました。
- 知っているつもりでしたが、カメラアングル、ホワイトバランス、露出補正などが良く分かった。かなり大きな進歩になりました。
- 普段なにげなく使っていたカメラに様々な機能があることを知りました。今回のワークショップで使い方もわかり、大変勉強になりました。
- カメラの操作や機能について勉強になった。今までの撮影では被写体の正面からばかり写していたが、いろいろな角度から撮影すると違った写真ができた。
- 講義内容がわかりやすく、ポイントが押さえられていて、写真を撮るのが楽しくなった。グリッドや露出補正など役立つ情報もありがたかった。
- 知らない方々との撮影会でしたが、楽しく撮ることができました。アングル（構図）の決め方が難しく、今まで適当に写していたが、丁寧に撮ろうと思った。
- オートモードだけではなく、機能と、その場所（操作）を覚えるのが、キレイに撮影するコツなんだな、と思いました。
- （座学だけではなく）実習を混ぜて講義してもらえたので、楽しかったです。

ワークショップの様子



市民公益活動入門講座

日 時	平成 29 年①8 月 20 日（日）13:00～16:00②9 月 30 日（土）13:30～15:30③10 月 21 日（土）13:30～15:30	
講座名	①NPOのための資金調達入門講座～ファンドレイジング基礎編～ ②若者からシニアまで活躍する環境づくり ③お金がまわるように、活動をどう事業化していくか？	
講 師	①奈良ファンドレイジング研究会、渡辺一城さん（天理大学教授）、西村昌弘さん（クラウドファンディングコーディネーター）、田中伸一さん（社会福祉法人ぶろぼの 公益活動推進室 室長） ②西尾陽平（NPO法人ならゆうし） ③川中大輔（シチズンシップ共育企画）	
参加者	延べ 33 名	
目的	①資金調達について基礎から学ぶことをきっかけとして、資金調達に向けて具体的なアクションを起こしていただく。 ②若者世代の参画に焦点をあて、多世代が交流し、活動が活発になる環境づくりについて共に考える。 ③安定した資金の循環が得られるための方法について学び、資金の心配をせずに事業が実施できるようになることを目指す。	
概要	①資金調達の入門や今すぐできる資金調達方法についての講座を行った。 ②メールを使って数千人を対象に実施された「若者と NPO の距離、関心」等についてのアンケート調査の分析や、「ならゆうし」の主な事業であるインターンシップの詳細な内容についての講座を行った。 ③ビジネスモデルを作ることの意義から商品やサービスを開発していく流れ、お金が回るようになった「先」をどう描くか等についての講座を行った。	
	来場者アンケートの声	会場の様子
	<p>①NPOのための資金調達入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間が十分になく、意見交換が不十分。 • 2 組の団体の方とお話できました。いろんな活動をされている団体があるのだとびっくりしました。 • 助成金 運営金調達にどのような方法があるか知った。メンバーと情報共有し、今後の活動に役立てたい。 <p>②若者からシニアまで活躍する環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加者が極端に少なかったのが、とにかく残念である。企画自体は大変よいものであったし、内容もしっかりしたものだったと思う。 <p>③お金がまわるように、活動をどう事業化していくか？</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体を維持、継続する難しさ、改めて認識 	 <p>▲NPOのための資金調達入門講座</p>  <p>▲若者からシニアまで活躍する環境づくり</p>

井戸端サロン

日時	第1回 6月3日(土) 第2回 7月29日(土) 第3回 9月23日(土) 第4回 1月20日(土) いずれも午後の1時間程度
形態	交流コーナーにて、自由な話し合い
参加者	団体 13団体 15名 市民 11名 合計 26名
目的	各団体間、および各団体と市民や当センターボランティアコーディネーター間の交流や情報交換をすることにより、活動団体の今後の活動の活性化を図る。
概要	パネル展入れ替え日を開催日とし、主にパネル展出展団体やその団体に関心がある市民が参加。団体の活動内容を個人が知ることとなり、また団体にとっては市民の関心に直に触れる機会となった。

担当者の所感より

- ・お話を通じて、団体の活動にとってもやりがいと誇りを持っていることが心底伝わってきた。
- ・一貫して、就労サポートを必要とする若者や障害者への優しく温かな視点から話をされていたのが、非常に印象的だった。
- ・井戸端サロンへの、パネル展の出展団体など積極的な呼びかけは出来なかったが、自然な形で、集まってきた方(センターからのメールで)が、それぞれに自らの意志で発言して下さり種々ご意見をお聞きできた。
- ・団体の活動をアピールするための意見を、ふせんに書いて貼ってもらうなど交流できよかった。
- ・今年度、広報デザイン講座「魅力が伝わる三つ折りパンフを作ろう」という講座を団体向けに開催したこともあり、その結果できあがった三つ折りパンフを使って一般市民の方やこれから三つ折りパンフを作ろうと考えている団体の前で、発表の機会も兼ねることができて大変良かった。
- ・予め集めた登録団体その他の三つ折りパンフの中から、「あなたの一押し」を選んでいただいて、一人ひとりその理由について語っていただいた。それぞれの興味関心や、目を引くもののエッセンスを知ることができ、有意義であった。
- ・また発表したことで質問を受け、自分たちの三つ折りパンフに不足している情報があることに気づくこともでき、有意義な時間を過ごすことができてよかった。
- ・参加者の感想には、「よい会だった。皆さんがあんなに活発に発言するとは驚きだった。いろいろ得るところがあった。」等あり手ごたえを感じることもできた。

会場の様子



NPOとボランティア団体パネル展

日 時	前半クール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クール</th> <th>期 間</th> <th>搬 入</th> <th>搬 出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>平成 29 年 5 月 6 日 ~ 6 月 3 日</td> <td>5 月 6 日</td> <td>6 月 3 日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平成 29 年 6 月 3 日 ~ 7 月 1 日</td> <td>6 月 3 日</td> <td>7 月 1 日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平成 29 年 7 月 1 日 ~ 7 月 29 日</td> <td>7 月 1 日</td> <td>7 月 29 日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>平成 29 年 7 月 29 日 ~ 8 月 26 日</td> <td>7 月 29 日</td> <td>8 月 26 日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>平成 29 年 8 月 26 日 ~ 9 月 23 日</td> <td>8 月 26 日</td> <td>9 月 23 日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>平成 29 年 9 月 23 日 ~ 10 月 21 日</td> <td>9 月 23 日</td> <td>10 月 21 日</td> </tr> </tbody> </table>	クール	期 間	搬 入	搬 出	1	平成 29 年 5 月 6 日 ~ 6 月 3 日	5 月 6 日	6 月 3 日	2	平成 29 年 6 月 3 日 ~ 7 月 1 日	6 月 3 日	7 月 1 日	3	平成 29 年 7 月 1 日 ~ 7 月 29 日	7 月 1 日	7 月 29 日	4	平成 29 年 7 月 29 日 ~ 8 月 26 日	7 月 29 日	8 月 26 日	5	平成 29 年 8 月 26 日 ~ 9 月 23 日	8 月 26 日	9 月 23 日	6	平成 29 年 9 月 23 日 ~ 10 月 21 日	9 月 23 日	10 月 21 日
	クール	期 間	搬 入	搬 出																										
1	平成 29 年 5 月 6 日 ~ 6 月 3 日	5 月 6 日	6 月 3 日																											
2	平成 29 年 6 月 3 日 ~ 7 月 1 日	6 月 3 日	7 月 1 日																											
3	平成 29 年 7 月 1 日 ~ 7 月 29 日	7 月 1 日	7 月 29 日																											
4	平成 29 年 7 月 29 日 ~ 8 月 26 日	7 月 29 日	8 月 26 日																											
5	平成 29 年 8 月 26 日 ~ 9 月 23 日	8 月 26 日	9 月 23 日																											
6	平成 29 年 9 月 23 日 ~ 10 月 21 日	9 月 23 日	10 月 21 日																											
後半クール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クール</th> <th>期 間</th> <th>搬入</th> <th>搬出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>平成 29 年 11 月 18 日 ~ 12 月 16 日</td> <td>11 月 18 日</td> <td>12 月 16 日</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>平成 29 年 12 月 16 日 ~ 平成 30 年 1 月 20 日</td> <td>12 月 16 日</td> <td>1 月 20 日</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>平成 30 年 1 月 20 日 ~ 2 月 17 日</td> <td>1 月 20 日</td> <td>2 月 17 日</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>平成 30 年 2 月 17 日 ~ 3 月 17 日</td> <td>2 月 17 日</td> <td>3 月 17 日</td> </tr> </tbody> </table>	クール	期 間	搬入	搬出	7	平成 29 年 11 月 18 日 ~ 12 月 16 日	11 月 18 日	12 月 16 日	8	平成 29 年 12 月 16 日 ~ 平成 30 年 1 月 20 日	12 月 16 日	1 月 20 日	9	平成 30 年 1 月 20 日 ~ 2 月 17 日	1 月 20 日	2 月 17 日	10	平成 30 年 2 月 17 日 ~ 3 月 17 日	2 月 17 日	3 月 17 日									
クール	期 間	搬入	搬出																											
7	平成 29 年 11 月 18 日 ~ 12 月 16 日	11 月 18 日	12 月 16 日																											
8	平成 29 年 12 月 16 日 ~ 平成 30 年 1 月 20 日	12 月 16 日	1 月 20 日																											
9	平成 30 年 1 月 20 日 ~ 2 月 17 日	1 月 20 日	2 月 17 日																											
10	平成 30 年 2 月 17 日 ~ 3 月 17 日	2 月 17 日	3 月 17 日																											
形 態	前半クールと後半クールにわけて、10クール展示。1クール8団体ずつ展示																													
参加者	展示希望団体																													
満足度	団体：展示期間、展示スペース「ちょうどよい：100%」 一般：アンケート参照																													
目的	奈良市を中心に活動するボランティアグループやNPO、市民公益活動団体の活動について、市民にその意義をより深く理解していただき、広くボランティア、NPO活動などへの関心を深めていただくというものです。																													
概要	パネルに各団体の創意工夫を凝らして展示をして頂く。高さ180cm×横150cm 机希望により1台貸し出し。ポスターは大型プリンターの印刷はパネル展に限り無料で印刷できる。																													

アンケート調査結果

一般の方を対象としたアンケート結果（1～10クール）

20代未満	1
20代	4
30代	12
40代	37
50代	70
60代	234
70代	335
80代以上	187
合計	880
男	212
女	617
合計	829

① ボランティア・NPOなどに興味がある	550
② ボランティア・NPO活動をしたいと考えている	56
③ ボランティアしてくれる人や団体を探している	16
④ 当センター以外の施設の利用のため	231
合計	853

① 参考になった	654
② どちらともいえない	82
③ 参考にならなかった	7
合計	743

（団体アピール：クール期間中、入門講座の中で活動紹介）

- ・NPO 法人チョウタリィの会
- ・障害者差別をなくす条例推進委員会
- ・公益社団法人 なら犯罪被害者支援センター
- ・あかるいみらい準備室
- ・JICA 関西
- ・NPO 法人日本結婚教育協会

会場の様子



パネル展の全体の様子



クール搬入・搬出時の井戸端サロン

○各団体の展示例



健やか交流塾おもちゃ病院の工夫をこらした太陽光パネル



パネル展開催により、布そりを作りたい方が増えた。



今回はじめて展示
大仏鉄道研究会



ネパール、タイ、インドネシア、インドへの支援活動



田原・柳生・大柳生・狭川・東里・月ヶ瀬・都祁など東部地域の地域活性化活動

HUG² (はぐはぐ) 祭り2017

日時	平成29年11月11日(土) 10:00~15:00
形態	市民公益活動団体による、一般市民に向けての団体および活動の紹介・発表・PR イベント。
内容	展示・体験・相談・物販等の出展ブース、ダンスや楽器演奏等のステージ発表、折り紙体験やPC相談会等の共催コーナー、別フロアでの協働事業等
参加団体	【出展ブース/26団体】 【ステージ発表/8団体】 【共催コーナー/2団体】 【協働事業(演劇ワークショップ・避難所シュミレーション)/2団体】
来場者	【一般来場者/657人】 【団体関係者/238人】 【その他(市民ボランティア等)/28人】
満足度	【良かった81%】 【ふつう14%】 【良くなかった1%】 【その他4%】 (※回収総数208人分の来場者アンケートより)
目的	市内で活動する様々な公益活動団体の取り組みを多くの市民に知っていただき、ボランティアやNPOについて興味や関心を深める機会を創出する。
概要	総勢38団体が当イベントに集結し、来場した多くの市民に向けて「活動のPRや発表」「ボランティア体験」「相談会」などを実施しました。

来場者アンケートの声

- みなさんの懸命な取り組みに感心しました。• ダンスと歌を楽しみました。
- それぞれに考えられていて、とても良かったです。 • 情報が多すぎる。
- いろいろ知ることができたし、体験もできたので、楽しかったです。
- 子どもと一緒にキッズコーナーで折り紙を楽しむことができて良かったです。
- いろいろ体験できて勉強になった。• 知らない団体を知るきっかけになった。
- とても楽しかったです。毎年の開催が楽しみです。• 面白かった、また来たい。
- うどんや野菜など、飲食物の販売がなかったので、少し残念だった。
- これからも、いろいろな団体の情報発信の場としてイベントをつなげてほしい。

参加団体アンケート

- 年々イベントのPRも行き届き、盛況に推移しているのを肌で感じました。
- ステージ発表の団体が多く、イベントが賑やかでより楽しい雰囲気になった。
- 市民ボランティアの方々が協力してくださり、大変ありがたく思いました。
- 準備作業を通じて、他の参加団体とも仲良くなることができました。
- イベントの認知度もだいぶ上がり、来場者も増えたが、一般市民の方々にもっと来ていただく工夫をしなければいけないと感じました。
- ステージ発表の音量が大きくて、出展ブースのエリア内で会話がしにくかった。
- とても楽しく踊らせていただきました。来年もぜひ参加したいと思いました。
- イベントの定着とともに、参加団体のPR方法のレベルアップも求められる。

会場の様子



テーマ別サロン ～奈良市内子ども食堂情報交換会～

開催日時	平成 30 年 2 月 28 日 (水) 10 : 0 0 ~ 12 : 0 0	
形態	情報交換会	参加者数 9名 (7団体)
目的	奈良市内で「子ども食堂」を実施している団体相互に知り合っただき、情報交換、交流することを目的とする。それぞれの課題や工夫点などを共有することで、自団体の活動をさらにもう1歩進める機会となることを期待する。	参加団体 おんどく朝ごはん(大宮放課後子ども教室きっずおおみや)3名 あすかこのゆびとまれ子ども食堂 シカ食堂 よこい子ども食堂(横井地区協議会) 子ども&JB食堂(市民ひろば なら小草) 奈良CO-OP CRS組織広報部 奈良市ボランティアセンター
実施内容	1. あいさつ 2. 参加者各団体自己紹介 3. ・欠席団体の活動について・「奈良フードバンク」について ・「子どもの貧困対策レベルアップ研修会」の報告等(佐藤)	4. 各団体から活動についての発表 (詳細は添付参照) 5. 質疑応答と情報提供 6. サポーター(CO-OP/VC)からの情報提供 ※4. 5. 6は同時並行で進行。
参加者の意見等		会場の様子
<ul style="list-style-type: none"> 各団体間で、活発に質問や情報の交換がなされていた。 それぞれの団体は他の団体のことはほとんどご存じなく、新鮮に感じてもらえ、それがお互いの刺激にもなっていたようだったが、同時に調整役としてのセンターの必要性を感じた。 人が集まるところは、地域との連携がうまくいっている。民生委員、地域社協、学校の協力は大きな力となっている。 ボラセンから「県社協が県のネットを立ち上げ、当センターが市単位のネットをつくるのであれば、ボラセンとしては事業の立ち上げに直接かかわってほしい」との声があった。 奈良CO-OPから「奈良フードバンクが立ち上がったことにより、食材の提供がやりやすくなった。また、今回、職員個人からの寄付として米の提供の申し出があった。30キログラムで3袋あるので、希望される団体はどうぞ」との申し出があった。→子ども&JB食堂が10キログラムほど希望され、後日受け取られることになった。 ゆっくりでよいので、「奈良市子ども食堂ネットワーク」をつくってほしいということ同意が得られた。 		 

スポーツボランティア養成講座 特別講演「夢をあきらめない」

日時	平成30年3月12日(月) 10:00~12:00
講師	北京オリンピックシンクロ競技日本代表 石黒 由美子 さん
形態	講演会
参加者	130人
満足度	99%
目的	29年度実施した「スポーツボランティア養成講座」の特別講演として、競技者と夢を共有するスポーツボランティアの魅力を再認識する。
概要	夢をあきらめないで生きる事の大切さ、また、それを支える人々の尊さを学び取ることができた。

参加者アンケートの声

- ・「奇跡の夢ノート」読ませて頂きました。読み終わった後、感動で涙が止まりませんでした。息子も水泳で夢を追いかけています。石黒さんのお母様のように、夢を支え続けられる母でいれるようがんばりたいです。今日の講演に、石黒さんのお話を聞いたこの機会に感謝したいです。有難うございました。
- ・「夢をあきらめない」本当にその通りだと思います。この年でまだまだやりたい事、かなえたいこと、沢山あるのであきらめず、かなうまで頑張ろうと思います。素晴らしい講演ありがとうございました。
- ・お母様のはげまし、大丈夫よ！由美ちゃんなら出来る！この言葉すばらしいお母様に感動致しました。お話も、わかりやすく「宿命を使命にかえる」生き方今後、どん々伝えて下さい。先生！大感動をありがとうございました。
- ・どんな境遇でも明るいお母様の子育てに感心いたしました。これからでも遅くない、私もがんばる気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・知り合いの方に誘ってもらいましたが、すごくよかったです。私も病気治療中で、気持ちもめいりますが、前向きに進んでいけるようがんばろうと思われました。
- ・苦しんだ分だけ幸せになれる。私も信じることにします。お母様の素晴らしい生き方も心に残ります。すばらしい講演会でした。

講演の様子



プチボラ体験コーナー

期 間	平成29年7月10日(日)～平成30年3月31日(金)
形 態	常設のボランティア作業コーナー
内 容	「プチボラ体験コーナー」を常設し、(使用済み切手をハサミで切りそろえる作業を“プチボランティア”称して、子どもや親子で気軽に体験してもらおう。切手は最終的にすべて「日本ユニセフ協会」に寄贈して、途上国の医療向上のために役立てられます。また、自分たちの作業(プチボランティア)がどんな社会貢献につながるのか、子どもたちにわかりやすく伝えるための説明ポスターも掲示しています。
参加者	64人(平成30年3月31日時点)
目的	子どもたちがボランティア活動に触れる「きっかけづくり」の場として、楽しく簡単な「切手切りボランティア」が体験できるコーナーを設置した。
概要	当センターで集めた「使用済み切手」を使用して、切手の周囲に約1cmの余白が残るよう、子どもたちや保護者などにハサミで切ってもらいます。

会場の様子



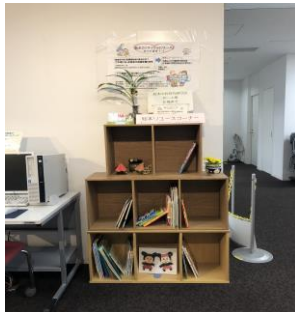
絵本リサイクル・リユース

日時	通年
目的	各家庭で不要になった絵本の有効活用
概要	不要の絵本、児童書を寄贈いただき（20P 付与）、清拭、補修の後配架。必要な市民に 1 回 5 冊を限度に持ち帰ってもらっている。

絵本リユース利用数

	寄贈		持ち帰り	
	冊数	人数	冊数	人数
4 月	47	21	51	45
5 月	84	7	46	27
6 月	125	6	144	66
7 月	167	12	115	48
8 月	81	10	68	58
9 月	83	13	83	46
10 月	261	16	71	49
11 月	167	15	214	97
12 月	124	11	204	90
1 月	284	26	167	87
2 月	114	19	152	97
3 月	715	63	297	115
合 計	2,252	137	1,612	825

コーナーの様子



トミカ・プラレール・リサイクル

日時	通年
目的	各家庭で不要になったトミカ・プラレールの有効活用
概要	不要のトミカ・プラレールを寄贈いただき（ポイントは個々に設定）、当センターの主催事業や、各種イベントへの貸出しを行う。

トミカ・プラレール寄贈数

	プラレール					トミカ	
	車両 (動力あり)	車両 (動力なし)	レール・ レール部品	情景部品 (踏切等)	情景部品 (大型等)	車両	トミカ システム
7 月	1	4	16	2	3	1	
9 月	3	7	19				
12 月			83	5			
1 月			74	7			
2 月	5	21	158	2			
3 月	23	78	265	175	11	81	
合 計	32	110	615	191	14	82	

イベント使用例（HUG²祭り）



センターボランティア

日時	2017年10/13(金)、11/1(水)、11/2(木)、11/6(月)、11/7(火)、11/8(水)、11/11(土) ※合計7日間
参加者	78名(累計)の市民が参加
目的	ボランティアに興味・関心のある市民のなかには、当センターが紹介した施設や団体での活動は「ハードルが高い」と感じる方がいます。そういった方々がもっと気軽にボランティア参加できる場所として、当センター内での軽作業ボランティアを募集しています。
概要	当センターで発行する「ボランティア募集」「ボランティア・NPO団体 活動メンバー募集」情報冊子の製本作業、「HUG ² (はぐはぐ)祭り」当日の来場者受付や準備作業(缶バッジ・看板・名札・当日パンフ等の製作)を、一般市民の方々にお手伝いいただいた。

センターボランティアの様子

